



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 eBASE株式会社  
 コード番号 3835 URL <http://www.ebase.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 常包浩司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 窪田勝康

TEL 06-6486-3955

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,610	7.2	481	22.5	497	30.2	332	31.2
29年3月期第3四半期	2,434	0.3	393	41.0	382	39.7	253	45.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 332百万円 (30.9%) 29年3月期第3四半期 254百万円 (45.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	29.09	28.94
29年3月期第3四半期	22.24	22.18

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株に対し普通株式2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	3,426	3,162	91.7	274.36
29年3月期	3,258	2,907	88.3	252.76

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,142百万円 29年3月期 2,877百万円

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株に対し普通株式2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		20.00	20.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				17.30	17.30

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株に対し普通株式2株の割合で株式分割を行っております。平成29年3月期は当該分割前の実際の配当金の額を記載しております。平成30年3月期(予想)配当金の内訳 普通配当14円80銭 記念配当2円50銭

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,660	2.2	821	0.9	830	1.7	567	0.0	49.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株に対し普通株式2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益は、当該分割を考慮した額を記載しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	11,791,200 株	29年3月期	11,791,200 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	337,082 株	29年3月期	407,468 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	11,419,904 株	29年3月期3Q	11,382,320 株

当社は、平成29年10月1日付で普通株式1株に対し普通株式2株の割合で株式分割を行っております。発行済株式数は、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国新政権の政策動向や東アジアの地政学リスクなどによる国内景気への影響等から、先行き不透明な状況となりました。我が国経済は、政府による経済政策を背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が続き、緩やかながらも回復基調を続けてまいりました。しかしながら、地政学的リスクの高まりや海外市場動向の不確実性等、先行きの不透明感は払拭できないまま推移しました。当社グループの属する情報サービス分野におきましては、企業のIT投資は、企業収益の改善を受けて、システムの開発需要が高まり、全体としては緩やかな増加傾向で推移しておりますが、価格競争は激しくなっております。

このような環境の下、当社グループは、パッケージソフトビジネスのeBASE事業並びにIT開発アウトソーシングビジネスのeBASE-PLUS事業で構成し事業活動をいたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,610,397千円（前年同四半期比176,075千円増）、営業利益481,491千円（前年同四半期比88,310千円増）、経常利益497,834千円（前年同四半期比115,412千円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益332,152千円（前年同四半期比79,010千円増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

#### (イ) eBASE事業

[食品業界向けビジネス（食の安心安全管理システム/FOODS eBASE）]

食の安全情報交換の全体最適化を図りながら「FOODS eBASE」による商品情報交換の普及促進を図り、新規の食品小売及び食品メーカーの受注が順調に推移しました。また、開発面では新たに追加施行された食品表示法の原料原産地表示ルールに対する機能追加に着手しました。更に、加工食品の安全情報を効率的に交換できるクラウドサービス「食材えびす」の機能強化にも努め、小売業の商品マスターデータ収集の更なる効率化を実現するために、基幹システム向けの文字・数値データ主体の商品マスターデータの交換サービスを追加機能として構築・リリースしました。結果、売上高は、大型継続案件の継続的受注に加え、食品小売や食品メーカー等への深耕営業に努めたことにより、前年同四半期比で増加となりました。

[その他業界（顧客別にカスタマイズした商品詳細情報管理システム/GOODS eBASE）]

工具業界や家電業界等へeBASE活用提案に努め、大手家電小売企業で統合商品情報管理システムの受注が確定しました。特に、日雑業界においては、非食品消費財の商品情報交換における作業負荷を大幅に軽減し、複数の小売業が商品情報を共同収集可能なサービス基盤「日雑えびす」をクラウドサービスとして提供を開始し、自動車用品販売大手企業にて採用が決定しました。住宅業界においては、カタログコンテンツ管理に大手ハウスメーカー、建材メーカーからの受注が確定しました。結果、売上高は、家電業界においてリリースした「家電えびす」の受注や日雑業界における「日雑えびす」のリリースに伴う受注等が堅調だった事に加え、様々な企業から、統合商品情報管理システムの引き合いが増加したこと等により、前年同四半期比で増加となりました。

[コンテンツマネジメントソフト開発/ミドルウェアeBASE]

CMS（Content Management System）開発プラットフォーム「ミドルウェアeBASE」の機能強化に引き続き注力すると共に、パートナー企業の開拓及び個別企業ニーズに合致したCMS提案に努めました。

これらの結果、その他業界（顧客別にカスタマイズした商品詳細情報管理システム/GOODS eBASE）だけでなく、全般に渡り、第4四半期に見込んでいた数件の大型案件の進捗が、計画より前倒して売上計上となったこと等により、eBASE事業の売上高は950,396千円（前年同四半期比114,835千円増）、経常利益274,851千円（前年同四半期比79,161千円増）となりました。

#### (ロ) eBASE-PLUS事業

既存IT開発アウトソーシングビジネスにおいては、顧客ニーズの迅速な把握と対応による案件獲得に引き続き注力しました。また、顧客ニーズに即した技術者のキャリアアップ研修のより一層の充実を図り、人材育成メニューの拡充に努めました。人材確保は、即戦力となる人材の採用により稼働工数が増加しました。更に、人材の再配置及び顧客との単価交渉を実施したことにより、1人あたりの収益性がアップすることとなりました。

これらの結果、人材のキャリアアップ並びに顧客との単価交渉を実施したことによる収益性の向上に加え、即戦力となる人材の採用による稼働工数と九州事業におけるビジネスパートナー工数の増加により、eBASE-PLUS事業の売上高は1,663,564千円（前年同四半期比63,003千円増）、経常利益222,983千円（前年同四半期比36,250千円増）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産の部）

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ168,341千円増加し、3,426,365千円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が315,593千円減少した一方で、現金及び預金が143,816千円、投資有価証券が309,116千円増加したこと等によるものであります。

### （負債の部）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ86,999千円減少し、263,985千円となりました。主な要因は、未払法人税等が120,590千円減少したこと等によるものであります。

### （純資産の部）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ255,341千円増加し、3,162,380千円となりました。主な要因は配当金支払により利益剰余金が113,837千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益計上により利益剰余金が332,152千円増加したこと等によるものであります。これにより自己資本比率は91.7%となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました連結業績予想から変更ございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,432,544	1,576,361
受取手形及び売掛金	709,474	393,880
有価証券	-	1,418
仕掛品	1,838	7,647
その他	26,353	27,233
貸倒引当金	△13,910	△310
流動資産合計	2,156,300	2,006,230
固定資産		
有形固定資産	16,980	15,443
無形固定資産		
のれん	2,475	1,800
その他	33,631	44,641
無形固定資産合計	36,106	46,441
投資その他の資産		
投資有価証券	1,006,962	1,316,078
その他	42,549	43,046
貸倒引当金	△875	△875
投資その他の資産合計	1,048,637	1,358,249
固定資産合計	1,101,723	1,420,135
資産合計	3,258,024	3,426,365
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,042	28,012
未払法人税等	151,921	31,330
その他	170,021	204,642
流動負債合計	350,985	263,985
負債合計	350,985	263,985
純資産の部		
株主資本		
資本金	190,349	190,349
資本剰余金	165,132	187,433
利益剰余金	2,661,433	2,879,748
自己株式	△140,270	△116,106
株主資本合計	2,876,644	3,141,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	679	1,095
その他の包括利益累計額合計	679	1,095
新株予約権	29,714	19,860
純資産合計	2,907,038	3,162,380
負債純資産合計	3,258,024	3,426,365

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,434,322	2,610,397
売上原価	1,380,855	1,409,060
売上総利益	1,053,466	1,201,336
販売費及び一般管理費	660,285	719,845
営業利益	393,181	481,491
営業外収益		
受取利息	3,520	5,324
受取配当金	785	8,195
貸倒引当金戻入額	-	10,600
その他	1,065	2,974
営業外収益合計	5,370	27,094
営業外費用		
支払手数料	11,250	4,700
上場関連費用	4,450	4,348
その他	429	1,703
営業外費用合計	16,129	10,751
経常利益	382,421	497,834
税金等調整前四半期純利益	382,421	497,834
法人税、住民税及び事業税	120,535	155,659
法人税等調整額	8,745	10,022
法人税等合計	129,280	165,681
四半期純利益	253,141	332,152
親会社株主に帰属する四半期純利益	253,141	332,152

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	253,141	332,152
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	958	415
その他の包括利益合計	958	415
四半期包括利益	254,099	332,568
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	254,099	332,568
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。